

みんなで考える 観光地域づくり



5月25日、東京農工大学大学院・福井隆教授を講師にお招きし、観光地域づくり講演会を開催しました。

前半の講演では、「観光地域づくりで地方創生の事例」、「DMOとは何か」、「先進地事例について」を学び、後半は参加者がグループに分かれて「上士幌のよいところ」や「将来も残していきたいもの」を出し合いながら、まちの観光資源について考えました。

福井先生は、「地域が誇りに思っている資源が観光客としても一番魅力ある観光資源である。わざわざ行きたくなるような地域をつくるのが大事。」と話され、グループワークでは多くのグループが「自然や風景」が一番にあげていました。他には「食べもの、農産物」、「レジャー、アクティビティ」が多くあげられており、上士幌町は住みやすい場所で、さまざまな資源があるまちであることを再認識することができました。

グループワークでの「上士幌の魅力、一番大切にしたい資源」(全6グループ)



▲▶ グループワークでは、参加したみなさんそれぞれが思う上士幌の魅力や資源を出し合い、グループでまとめました

🗨️ **自然・風景** …4グループから
農村風景がすばらしい。星空がすばらしい。すばらしい山々。三国峠からの景色など。

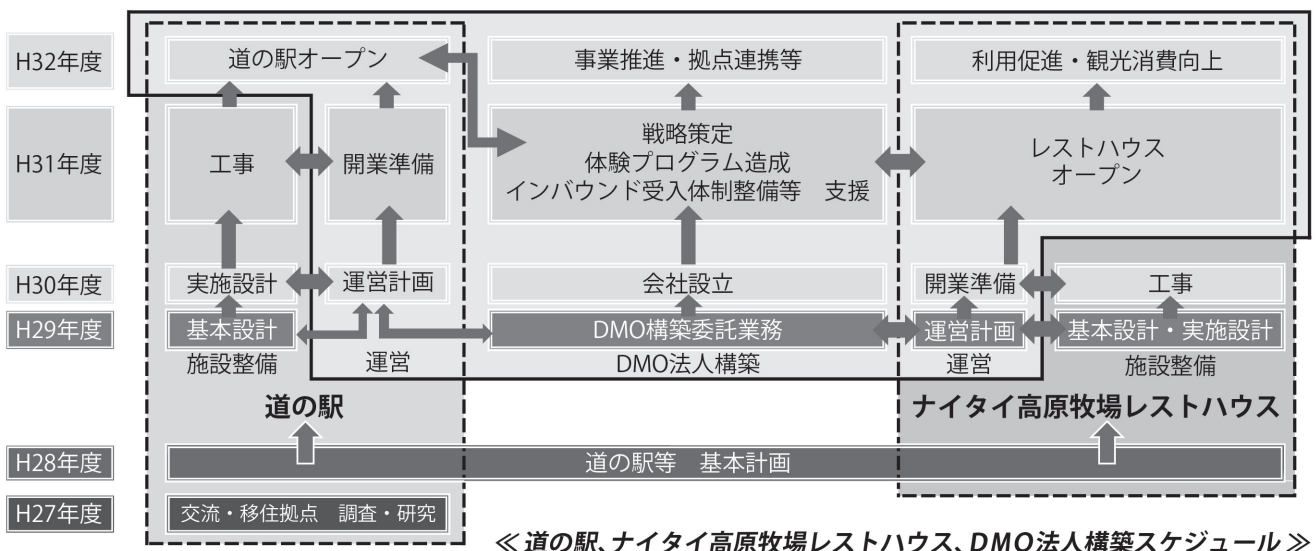


🗨️ **食べ物** …1グループから
山菜、鹿肉など美味しいものが採れる。水が美味しい。など。

🗨️ **レジャー・温泉** …1グループから
熱気球、ゴルフ場、温泉、スキーなど。

♣️ 道の駅・ナイトハイ高原牧場レストハウスの整備、DMO法人の構築に向けて

今年度、道の駅とナイトハイ高原牧場レストハウスの基本設計を行い、将来的にこれらの事業運営主体となる観光地域づくり推進法人(DMO法人)の設立について検討していきます。進捗の状況は、今後も広報やホームページでお知らせいたしますので、みなさんのご意見をお聞かせください。



◀◀ 道の駅、ナイトハイ高原牧場レストハウス、DMO法人構築スケジュール ▶▶

お問い合わせは、商工観光課観光担当(☎2-4291)まで

ふるさと納税寄付金(一般寄付)を生涯活躍のまちづくりに



上士幌町ふるさと納税・ 生涯活躍いきがい基金



を制定します！

今年度から、ふるさと納税寄付金の一般寄付の一部を、「上士幌町ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金」として、「健康で安心していきいきと暮らせるまち」を実現するためのまちづくりに活用することといたしました。

一般寄付とは？

ふるさと納税寄付金のうち、「町に寄付金の活用をおまかせする」と寄付者が指定した寄付です。

どんな基金なの？ 大きく分けて次の3つの事業を対象としています。

① 健康寿命の延伸や地域包括ケアの醸成のための事業

誰もが個々の能力に応じて安心できる日常生活を営めるよう、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」などの地域包括ケア推進事業に活用します。



② 多世代交流等による地域コミュニティ醸成のための事業

誰もが「地域」「暮らし」「ふれあい」をともに作り、多世代交流などにより、高めあうことのできる事業に活用します。

③ 生涯活躍・いきがいづくりのための事業

誰もが「楽しみ」「生きがい」をもって暮らせる取り組みに活用します。



**「健康で安心して暮らせて」なおかつ、「生きがいをもって楽しめる」
取り組みに活用します！**

これからどうなるの？

今後、基金を活用する取り組みを検討していきます。個人やサークルなどの団体のみなさんにご意見をお聴きする予定でありますので、ご協力をお願いします。

基金を活用する事業の決定は、外部選考委員会による選考を行い、最終的に決定することとしています。

お問い合わせは、保健福祉課社会福祉担当(☎2-4296)まで